

忌部っ子だより

第18号
令和7年11月18日
発行者
松江市立忌部小学校
校長：井上孝弘



学習発表会：1年生

残り1ヶ月

11月も中旬を過ぎ、天気の良い朝は、色づいた木々が朝日に照らされて、とてもきれいですが、「秋の日はつるべ落とし」と言われるよう、夕方は、あっという間に暮れていくようになりました。

2学期も気がつけば、残り1ヶ月あまりとなりました。こどもたちも学習発表会が終わり、ほっと一息つきたいところですが、今度は、学期末に向けて学習のまとめをしていかなければなりません。

これから、今以上に寒さを感じるようになっていきます。感染症への対策はもちろんですが、風邪等も引かないよう、体調には十分に気をつけて健康に過ごしてほしいものです。

学習発表会

10月24日（金）には、学習発表会を行いました。1年生は「おおきな さつまいも」、2年生は「忌部 町たんけん」、3年生は「ワクワク・ドキドキ 3年生」、4・5・6年は「連合音楽会での発表曲」といった内容で、これまでの学習や練習してきたことの成果を精一杯発表することができました。そして、その発表を多くの人たちの前で披露することで、より大きな「自信」をつけることができたと思いますので、たいへん多くの皆様にご来校いただき、大変うれしく思いました。

また、保護者の皆様からもたくさんのお褒めの言葉をいただき、ありがとうございました。私も、一人一人の輝きやまとまりの良さの素晴らしいなど、本校の発表会の良さを改めて感じることができました。特に、1・2・3年生の発表は、一人一人がその子らしく安心して輝いていたと思いますし、4・5・6年生の発表からは、長い時間積み上げてきた集団としてまとまりの良さを感じることができました。こうした、忌部小らしさ、忌部小の良さを活かしていくこと、これからも学校を運営していく上の柱にしていきたいと改めて感じることもできました。



2年生



3年生



4・5・6年生

忌部小学校人権宣言文

12月4日（木）から始まる人権週間を前に、11月13日（木）には、人権教育に関する授業公開日や人権教育研修会を開催しました。子どもたちも人権標語を作成するなど、日頃から教育活動の基底に据えて実践している人権教育をより重点的に取り組んでいるところです。日常的な取組としては、「忌部小学校人権宣言文」があります。この宣言文は、本校の各教室に掲示してあり、毎朝、子どもたちが声に出して読んでいるものです。

忌部小学校人権宣言文

わたしたち 忌部っ子は
自分や友だちを大切にし
言葉づかいに気を付けて
まちがいをおそれずに
たくましく生活することを
ちかいます。

宣言文からは、「自分や友だちを大切にする（人を大切にすること）」ことが「人権」であり、「人権を尊重すること」であること。そのために「言葉づかいに気をつける」ことが必要であること。そして、いつも人を大切にしたり、いつも人から大切にされないと、人は「まちがいをおそれず たくましく生活する」ことができるようになることが読み取れます。また、この宣言文については、市内の小学校に同様のものはほとんどないようですので、忌部小らしく、忌部小への愛着も抱きながら、これからも、「人を大切にすること」について、日々考えてほしいと思っています。

ふるさと忌部の「ひと・もの・こと」から学ぶ

この1ヶ月の間も多く家庭や地域の皆様のご支援を受けながら、ふるさと忌部をはじめ地域の「ひと・もの・こと」から学ぶ機会がたくさんありました。ありがとうございました。

ハロウィーンパーティー

10月27日（月）、4年生は、外国語活動の一環として、公民館喫茶に伺い、ハロウィーンパーティーを行いました。この日のために、パーティーの衣装を工夫したり、出し物を企画したりするなど、地域の方々と一緒に楽しむためにはどうしたら良いか考え、準備してきましたので、地域の方々と交流を深める良い機会になりました。



フォークダンス交流会

10月30日（木）、5・6年生が、忌部地区のフォークソングサークルの皆さんとの交流会を行いました。子どもたちにとってあまり経験したことのないフォークダンスでしたが、サークルの皆さんに教えてもらいながら、フォークダンスの楽しさを感じ、地域の方との交流も深めることができました。



さくらの家との交流会

11月7日（金）、3年生が、総合的な学習の時間に、グループホームなどを運営されている社会福祉法人さくらの家との交流会を行いました。事前学習（11/4）のため来校された職員の方のお話や当日障がいのある方と一緒にサツマイモと里芋の収穫活動をしたことなどを通じて、福祉への理解が深まりました。

